

- 開催日時：令和元年9月17日(火)午後7時00分～9時00分
- 開催場所：イングビル3階第3、4会議室
- 出席委員：古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、柴委員、久松委員、三好委員 <以上6名、五十音順>
- 事務局：小松センター長、鈴木副センター長、妻屋福祉活動推進課長、山田地域福祉推進係長、青木主事

1. 報告事項

1. 業務報告について

事務局より、7・8月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：協働のまちづくりワークショップに参加した方のアンケートで気が付いたことはあるか。

事務局：偏愛マップで自己紹介を行ったことにより、自分を伝える、相手を理解するという意味で好評であった。アイスブレイク、講演、ワークショップが交互にあったので集中できた。また、時間が短かったという意見もあった。

委員長：参加していたが、確かにもう少し時間があってもよかったと感じた。社会教育委員会と協働推進の接点は何か。

事務局：文科省から教育の現場へ「地域学校協働活動」という取り組みが下りてきている。西東京市としては令和3年度の4月1日からスタートしようと考えており、今後、基本的な方針の在り方等を検討していく委員会だ。先進的な事例はあるが西東京市として考えていくこととしている。放課後カフェなど実際に地域の方とつながりができて来ているものもあるので、どのように事例を作っていくか、難しいことだと感じている。

事務局：補足だが、第三者委員会が終了した。本日、理事会で報告し、9月25日の評議員会での報告後、10月の運営委員会で報告する。

2. 9月以降の事業について

事務局より、9月以降の実施事業について説明があった。

委員長：NPO市民フェスティバルの受付は始まっているのか。

事務局：説明会の受付は開始している。ただ、前年と同じと思われるのか申込がないので明日から声掛けをしていく。

2. 審議事項

1. 前回の会議録について

委員長：質問、意見が特になければ、前回の会議録は確定稿とする。

3. 協議事項

1. センターの業務の執行に関する事項（重要事業の企画）について

事務局より、やってみ隊の今までの流れと、これからについて説明があった。

1 委員長：立ち上げてやってきたがなかなか前に進まなかったと感じている。一昨年からの流れを見て
2 きた委員の感想を聞きたい。

3 委員：それぞれの団体の目の前の問題意識で取り組まれてきていることが「活動の原点」になって
4 いるとしたら、そこを起点に協働という論点で企画を立てるには、もう一段ハードルを上げ
5 ないとならない。自分達の活動を再発見しながら地域の枠組みにどうやってのれるかが難し
6 しい。しかし、そこに気付くということが大切で、働きかけを止めてしまうと、個々の団体が
7 時間経過と共に活動が小さくなっていってしまうのではないか。今回の自主企画のように
8 『もう一回り大きな枠組みの中から自分たちの活動を再解釈したら、どんな意味があるの
9 か』とか、『自分達の活動は違う視点からどういう可能性が見いだせるのか』は、このよう
10 な企画が無いと見いだせないのではないか。結果がうまくいくか、いかないかではなく『他
11 の視点を提示しながら自分達の活動にどうつなげていくか』は、発展のためには必要であっ
12 ったと思う。

13 委員：自主企画に関しては各団体がテーマとして横断的に関わっていかなくてはならないような活
14 動があるのではないかとこの動機は感じられていたのか。この場だけの話ではなく、環境の
15 問題とか子そだての問題とかテーマとして横断的な問題意識がある中で議論はされてきたの
16 か。議論があったのであれば原点に戻って攻めていけばよいと思う。

17 事務局：以前は講座ではなかなか定員にならなかった。登録団体がなにを求めているのか把握してい
18 ないのではないかと、団体がやりたいものに取り組んだ方が良いのではないかと、やりたいも
19 のがあるのではないかとやってみ隊を提案してきた。他の市民活動センターでは登録団体が
20 主導で講座を企画するセンターもあるので、西東京市でもできるのかと提案したものだっ
21 た。

22 事務局：横断的なテーマがあり、これをどうにかしたいという起点からの出発ではなかった。

23 委員：団体へ横断的にやるようなことがあるかと問いかけをしても、今一つ問題意識なりモチベー
24 ションが少ないように感じている。

25 委員長：運営委員会側でもいろいろな講座が企画されているが、本当にみんなが受講したいと思っ
26 ているのか、登録団体の意見を聞いて企画をすることができないかと考え、2年前から始まっ
27 た。

28 副委員長：参加者が自分の団体の看板を背負って参加すると『自分の団体のメリット』を考えてしま
29 う。

30 委員：自分達の活動がSDGsでどのような関わりがあるか等がテーマだと横断的に発展させることも
31 考えられると思う。

32 事務局：今回のやってみ隊は事務局が主体ではなく、登録団体の皆さんが主体でゆめこらぼがサポー
33 トをし、みんなと一緒に協働してやっていく事が目的であった。

34 委員：テーマ決めから始めることが無かったから『自分の得意なテーマ』に持って行ってしまった
35 ので、NPO フェスの新会場で一緒に何か取り組んでみるのも自然かもしれない。やってみ隊の
36 意味が伝わり切らずに来てしまった。

37 委員長：前回の委員会で、『ホストタウンであるオランダをテーマに何かできないか』という提案が
38 なかったか。

39 委員：2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、西東京市はオランダのホストタウン
40 になっている。例えばNPO市民フェスティバルでオランダに関するブースを作り「オランダ

1 の絵本はどんなものがあるか」「オランダといえばどんな花が有名か」「オランダといえば
2 〇〇」のようなことを各ブースで担ってもらい、オランダのブースに来てもらってという取
3 り組みをしてみたらどうだろうかという話だった。
4 事務局：委員長も、NPO 市民フェスティバルの実行委員会に関わってくださっているのです、その席で提
5 案していただくのもひとつの方法だと思う。
6 委員長：やってみ隊の意図の伝え方が難しかったと昨年度は感じたが、これからのやってみ隊として
7 分野に関わらず、事務局案として、仲間を増やす講座やワークショップでもよいが、今年度
8 中に一度実施することを提案したい。

9

10 **4. その他**

11 1. 次回運営委員会日程について

12 日時：10月15日（火）19時～21時

13 会場：イングビル3階 第3、4会議室